

SecureDoc Enterprise Server

リリースノート

製品バージョン: 9.1

2023年11月

(Rev 1.1)

目次

本リリースバージョンについて	2
システム要件	3
KnownConfigs.XML ファイルについて	4
プログラム(プロダクト)名、用語について	5
重要なお知らせ	6
追加されたサポート OS	6
新機能	7
SecureDoc Enterprise for Windows	7
SecureDoc Enterprise for Linux	7
SESWeb.....	8
SDConnex.....	8
改善された機能.....	9
SecureDoc Enterprise for Windows	9
SES	9
SESWeb.....	9
改善された問題.....	10
SESWeb.....	10
制限事項	10
SecureDoc Enterprise for Windows	10
SecureDoc CloudVM.....	10
特定のハードウェアに関連する対応.....	11
サポートが必要なお客様	12
ウィンマジックの連絡先	12

本リリースバージョンについて

このドキュメントには、本バージョンに関する重要な情報が含まれており、全体を確認されることを強くお勧めします。最新バージョンでは、過去の不具合の修正及び新機能の追加など、製品が強化されています。改善された機能、安定性のための修正プログラム、セキュリティの強化のために、最新のバージョンをインストールして、利用されることを強くお勧めします。

バージョン	リリース日	EOL (End of Life)	ビルド情報
9.1	2023年11月11日	2026年11月11日	Build# 9.1.000.1349

旧バージョンについて

バージョン	リリース日	EOL (End of Life)	ビルド情報
9.0 SR4	2023年5月9日	2026年5月7日	Build# 9.0.400.60 Build# 9.0003.103 (macOS)
9.0 SR3	2023年3月2日	2026年3月1日	Build# 9.0.300.118 Build# 9.0003.103 (macOS)
9.0 SR2	2022年12月9日	2025年12月8日	Build# 9.0.200.207 Build# 9.0002.198 (macOS)
9.0 HF1	2022年9月7日	2025年3月30日	Build# 9.0.001.1053 (Windows クライアントのみ)
9.0 SR1	2022年7月21日	2025年7月21日	Build# 9.0.100.149 Build# 9.0001.73 (macOS)
9.0	2022年3月31日	2025年3月30日	Build# 9.0.000.1047 Build# 9.000.1030 (macOS)
8.6 SR1 HF2	2021年7月19日	2024年3月30日	Build# 8.6.102.171 Build# 8.6001.85 (macOS)
8.6 SR1	2021年3月31日	2024年3月30日	Build# 8.6.100.148 Build# 8.6001.85 (macOS)

注 Hotfix の EOL は、そのベースとなるバージョンまたはサービスリリースと同じです。

注 EOL を迎えたバージョンはテクニカルサポート終了となります。

※ 旧バージョンのリリースノートは、以下のサイトでご確認ください。

<https://www.winmagic.com/jp/support/jp-release-notes>

システム要件

SecureDoc Enterprise Server 及び SecureDoc クライアントのシステム要件:

<https://winmagic.com/ja/data-security-support-jp/system-requirements/>

デバイスの互換性:

<https://winmagic.com/en/data-security-support/device-compatibility/>

SecureDoc Enterprise Server

注 SES の DB 作成に必要な SQL のインストールでは、「機能の選択」で、「検索のためのフルテキスト抽出とセマンティック抽出」をインストールしておく必要があります。

フルテキスト検索については、マイクロソフトのサイトで、ご確認ください

注 SES コンソールの機能を適切に使用するためには、SES コンソールが稼働しているサーバーや管理用デスクトップマシンなどにおいて、少なくともローカルの管理者権限を持っている必要があります。

Active Directory の OU をインポートする場合、ドメインにログインするアカウントは管理者権限が必要です。

注 Azure Active Directory (Azure AD) の使用を希望するお客様は、v9.0 以降の SES が必要です。

旧バージョンの SES では Azure AD はサポートされません。

旧バージョンの SecureDoc クライアントのデバイスを使用されている場合、AzureAD に参加させる前に、v9.0 以降のクライアントにアップグレードする必要があります。

SecureDoc Enterprise for Windows

注 v9.1 より、**32bit OS** はサポートされません。**Legacy BIOS**モードはサポートされません。

注 MagicEndpoint を利用する場合、MagicEndpoint をインストールする前に、SecureDoc クライアントソフトウェアをインストールし、デバイスを SecureDoc Enterprise Server (SES) に登録する必要があります。

注 MagicEndpoint を利用するデバイスでは **TPM 2.0** が必要です。

注 キーファイルを TPM 保護する場合、**TPM 2.0** が必要です。TPM 1.2 及びそれ以前のバージョンはサポートされません。

Bluetooth (Bluetooth Low Energy) 接続のスマートフォン (モバイルトークンベース) をプリブート認証で利用したいお客様へ

注 Windows 10 または Windows 11 のみのサポートです。

注 プリブート認証プログラムは **PBLU** を選択してください。PBU では利用できません。

注 コンピュータのハードウェア構成 (UEFI 設定) で Bluetooth を有効にしてください。

SecureDoc Enterprise for FileVault2

注 macOS Mojave、Catalina はサポートしていません。

Apple から Catalina 向けのアップデートとセキュリティ修正が提供されていないこと、および macOS Big Sur から始まる HTTPS サポートのため、v9.1 では、macOS 13 - Catalina は除外されます。

注 macOS Sonoma (日本語環境) には対応していません。将来のバージョンで対応予定です。(対応時期未定)

その他

SecueDoc Essential for Windows は、旧バージョンの v9.0 SR3 より廃止されています。

KnownConfigs.XML ファイルについて

Windows デバイスへのSecureDoc のインストールで、個別の設定が必要なデバイスについて情報が得られると、ウィンマジックは、そのデバイスに必要な設定内容をKnownConfigs.XML ファイルに追記します。

通常、SES で作成したWindows デバイス向けSecureDoc クライアントのインストレーションパッケージには、KnownConfigs.XML が含まれています。クライアントへのインストール時にインストーラーがデバイスを検知し、KnownConfigs.XML 内にそのデバイスを見つけた場合、記述されている設定内容に従ったインストールを自動でおこないます。

KnownConfigs.XML によって、特定のデバイスにおける既知情報の知識を必要とせず、インストール時における問題を回避することができます。

※ 最新のKnownConfigs.XML ファイルについては、製品をご購入いただきました販売代理店へお問合せください。

KnownConfigs.XML ファイルの変更方法：

1. Windows Explorer から c:\Program Files(x86)\WinMagic\SDDB-NT に移動します。
2. 次に、*.xml のように XML ファイルを検索します。
3. 検索結果リストを名前別にソートします。
4. KnownConfigs.XML ファイルが見つかった各ディレクトリで、最新の KnownConfigs.XML と置き換えます。

注 KnownConfigs.XML ファイルは、ウィンマジックのみがその開発および機能強化する権利を保持しています。お客様による KnownConfigs.XML ファイルの変更に起因するサポートを要求される場合、ウィンマジック独自の裁量で追加のサポート費用を請求することがあります。ウィンマジックは、KnownConfigs.XML を拡張および向上する方法についてのお客様からのアイデアや提案を歓迎していますが、ウィンマジックは、多くのお客様にとって利益になると考えられる KnownConfigs.XML に対する変更、テスト、承認、および公表する唯一の権利を保持します。

プログラム(プロダクト)名、用語について

プログラム名

- SES** ... SecureDoc Enterprise Server の略称、SecureDoc クライアントを管理します。
- SESWeb** ... SecureDoc Enterprise Server Web コンソール (SDWeb と記載している場合があります)
- SDConnex** ... クライアントとの通信をおこなう通信プログラム

機能名

- PBA** (Pre-boot Authentication) ... プリブート認証 (OS 起動前の認証)
- RME** (Removable Media Encryption) ... リムーバブルメディア暗号
- RMCE** (Removable Media Container Encryption) ... リムーバブルメディアコンテナ暗号
- SFE** (SecureDoc File Encryption) ... SecureDoc ファイル暗号
- DAC** (Disk Access Control) ... ディスクアクセスコントロール
- Port Control** ... ポートコントロール

Windows デバイスのプリブート認証(PBA)プログラムについて

- PBL** (Pre-boot for Legacy) ... Legacy デバイス向け、PBA プログラム
- PBU** (Pre-boot for UEFI) ... UEFI デバイス向け、デフォルトの PBA プログラム
- PBLU** (Pre-boot for Linux UEFI) ... UEFI デバイス向け、Linux ベースの PBA プログラム

Windows サインインの認証方法について

- SDCP** (SecureDoc Credential Provider) ... サインインに SecureDoc Credential Provider を利用

プリブートネットワーク認証について

- PBN** (Pre Boot Network) ... プリブート認証で、ネットワークを利用すること
- PBNA** (Pre Boot Network Authentication) ... プリブート時に、SDConnex と接続しネットワーク認証する
- PBConnex** ... SDConnex を使用して、ネットワーク認証をおこなう機能

BitLocker 管理について

- SDBM** (SecureDoc for Bitlocker Managment) ... BitLocker の暗号化・管理を SES でサポートするプログラム
- SDBL** (SecureDoc for BitLocker) ... BitLocker 標準機能のプリブートを使用し、SES で管理する
- SDOT BL** (SecureDoc on top for BitLocker) ... BitLocker 向け SecureDoc のプリブート認証プログラム

File Vault2 管理について

- SDFV2** (SecureDoc for FileVault2) ... FileVault2 の暗号化・管理を SES でサポートするプログラム

Linux 管理について

- SDLinux** (SecureDoc for Linux) ... Linux の暗号化・管理を SES でサポートするプログラム

その他

- SDOSA** (SecureDoc for OSA) ... OSA (Operating System Agnostic)
TCG Opal ディスク用のプリブートプログラム
オペレーティングシステムを選びません。
- MagicEndpoint** ... FIDO2 に対応した認証アプリケーション

※ 以降、SecureDoc を【SD】、MagicEndpoint を【ME】と表記している場合があります。

重要なお知らせ

リファレンス	説明
SD-40686 SD-43992 SD-44557	<p>【SES / SES Web】ライセンス形態の改定</p> <p>これまでの SecureDoc に加えて、MagicEndpoint を統合するために、SES で管理するライセンス形態を改定しました。</p> <p>クライアント及びサーバーの暗号化は単一のカテゴリに統合され、従来のエンドポイント暗号化カテゴリは「FDE Enterprise Client」として、サーバー関連のカテゴリは「FDE Enterprise Server」に分類されます。</p> <p>Endpoint Encryption</p> <p>FDE Enterprise Client FDE Enterprise Server</p> <p>ファイル暗号化のライセンスは、SFE として分類されます。 新たに、Bluetooth 接続のスマートフォンをトークンとして使用する場合のライセンスと、MagicEndpoint のライセンスが追加されました。</p> <p>Add-ons</p> <p>SFE Phone Token (Bluetooth)</p> <p>MagicEndpoint Authentication</p> <p>Access Management FIDO Easy Enterprise</p> <p>※ SES を v9.1 にアップグレードすると、取得済ライセンスは包括的に再編成されます。</p>

追加されたサポート OS

リファレンス	説明
SD-44304	<p>【SDLinux】RedHat Enterprise Linux 9 (RHEL9)のサポート</p> <p>特定のカーネル バージョン 5.14.0-162.23 もサポート</p>

新機能

SecureDoc Enterprise for Windows

リファレンス	説明
SD-43976	<p>スマートフォンが Bluetooth 接続不可の場合、OTP によるリカバリー</p> <p>Bluetooth 接続のスマートフォンをトークンとして利用している設定で、Bluetooth 通信が不可の状況では、スマートフォンによるワンタイムパスワード(OTP)を使用して、プリブート認証及び Windows にログインできるようになりました。</p> <p>SecureDoc profile: [General options]->[Hardware Authentication] <input type="checkbox"/> Allow Mobile Device-based Authenticator using Phone token(Bluetooth) <input type="checkbox"/> Ask users enroll OTP protection om their phone Requires enabling MagicEndpoint in Communication options</p>
SD-44782	<p>資格情報プロバイダオプションに、パスワードマネージャー機能を追加</p>
SD-45342	<p>サードパーティのアプリケーションや Web サイトへのログイン時に、ホットキーを使用して Windows パスワードの自動貼り付けと送信を可能にします。 Windows と SecureDoc のパスワード同期がされておらず、Windows のパスワードを失念している場合でも、ホットキーを使用することで、ログイン操作を助けることができます。</p> <p>SES: [General options] -> [Credential Provider]</p> <p>Password Manager Options <input type="checkbox"/> Enable Windows password auto-fill to third-party application (With a hot-key combination) <input type="checkbox"/> Enable Windows password rotation upon auto-fill ⁽¹⁾ <input type="checkbox"/> Automatically rotate Windows password upon auto-fill ⁽²⁾</p> <p>(1) Windows パスワードの送信後に、パスワードのローテーションを有効にし、パスワードを変更することもできます。</p> <p>(2) SecureDoc は 15 秒以内に Windows パスワードの自動変更を試みますが、Active Directory のパスワード・ポリシーでは変更が 24 時間に 1 回に制限されている可能性があることを考慮し、次の適切な機会に変更を適応させる設定も可能です。</p>

SecureDoc Enterprise for Linux

リファレンス	説明
SD-39375	<p>ユーザー除外機能の追加</p> <p>Windows プロファイルと同様に「Exclude the following account(s)」が追加されました。 除外ユーザーリストに登録されているユーザーの場合、SecureDoc のインストール・展開時に SecureDoc プライマリ所有者画面は表示されません。</p>

SESWeb

リファレンス	説明
SD-44454	FIDO2 を使用した管理者ログイン認証 SESWeb は FIDO2 による管理者ログイン認証をサポートします。

SDConnex

リファレンス	説明
SD-41241	Transport Layer Security (TLS) 1.3 のサポート
SD-41244 ;	SDConnex とプロファイル設定で、「TLS 1.3 の使用を強制」、「HTTPS または TLS 1.3 を使用」、「TLS は無効」などの設定ができるようになりました。

改善された機能

SecureDoc Enterprise for Windows

リファレンス	説明
SD-42729	<p>SecureDoc コントロールセンターで、パスワード保護からトークン保護に変更可能</p> <p>パスワード保護からトークン保護に変更する設定が、デバイスプロファイルに移動したので、SecureDoc コントロールセンターでも管理可能となりました。</p>

SES

リファレンス	説明
SD-37781	<p>パスワードルールのリアルタイム更新</p> <p>パスワードルールが変更される場合、インストール済のデバイスに対して、グローバルオプションで設定済のパスワードルールの更新をサポートする必要があります。</p> <p>SES 管理者がグローバルオプションでパスワードルールを変更すると、SES 上のすべてのプロファイルに適用されるようになりました。</p> <p>プロファイルの再適用によって、新しいパスワードルールをデバイスに設定できます。</p>
SD-44007	<p>一重引用符文字を含むユーザー アカウント名をサポート</p> <p>SES は、Active Directory で使用できるすべてのユーザー ID 文字に準拠するために、一重引用符文字を含むユーザーアカウント名をサポートするようになりました。</p>
SD-46544	<p>一重引用符文字を含むメールアドレスをサポート</p> <p>SES は、ユーザーの電子メールアドレスに一重引用符文字を含むメールアドレスをサポートするようになりました。</p>

SESWeb

リファレンス	説明
SD-44439	<p>SESWeb に AD のパスワードを保存しないためのツール</p> <p>Active Directory でユーザーのパスワードをリセットしても、古いパスワードと新しいパスワードの両方で引き続き SESWeb ログインに使用できます。</p> <p>SES データベースのパスワードをクリアおよび更新するための新しいツール「SDTool.exe」が追加されました。</p> <p>ツールを実行すると、サーバー名、データベース名、SQL ユーザー名 (「sa」)、パスワードなどの重要な情報を入力できます。このツールは古いパスワードを削除し、SES データベース内のパスワードが更新された状態になるようにします。</p>

改善された問題

SESWeb

リファレンス	説明
SD-44881	JQuery 1.12.1 の脆弱性 SESWeb に影響を与える脆弱なバージョンの JQuery UI v1.12.1 を 1.13.2 に更新

制限事項

SecureDoc Enterprise for Windows

リファレンス	説明
SD-45096	UPN ユーザーでログインすると、Windows WMI API エラーが発生します userID@domain.com (UPN) または userID@domain 形式でログインする場合、AD ユーザーのすべての情報を取得できません。Windows がこれらの名前を管理する方法が原因で、電子メールを取得する際に問題が発生します。
SD-45891	Legacy BIOS は、サポートされません。 Windows をインストールする際に使用されるパーティション・スタイルは、UEFI モードか Legacy BIOS モードのいずれかです。 v9.1 は Legacy BIOS をサポートしません。

SecureDoc CloudVM

リファレンス	説明
SD-36375	XenServer の Windows Server 環境で暗号化できない プライベートクラウド XenServer を利用して、Windows Server 環境に CloudVM のインストールは行えるが、暗号化が開始しません。
SD-46826	パブリッククラウドの Ubuntu22.04.3 インスタンスにインストールできない パブリッククラウド(AWS, Azure)の Ubuntu22.04.3 インスタンスに SecureDoc CloudVM はインストールできません。

特定のハードウェアに関連する対応

リファレンス	説明
SD-44855	<p data-bbox="347 331 766 365">Realtek RTL8852BE のサポート</p> <p data-bbox="347 405 1316 501">内容： Realtek RTL8852BE は、プリブートネットワーク認証 (PBLU) を設定しても動作しない。 HP ProBook 450 G9 で、この Wi-Fi NIC が採用されています。</p> <p data-bbox="347 555 805 589">この問題は、本バージョンで対応済です。</p>

サポートが必要なお客様

弊社製品をご購入いただきました販売代理店によって、問い合わせ窓口が異なります。
サポートが必要なお客様は、製品をご購入いただきました販売代理店にて承ります。
既に SecureDoc をご利用いただいております、アップグレードに関するサポートが必要なお客様も、製品をご購入いただきました販売代理店にて承ります。

ウィンマジックの連絡先

ウィンマジック・ジャパン株式会社

〒105-0022

東京都港区海岸 1-2-3

汐留芝離宮ビルディング 21 階

電話番号: 03-5403-6950

URL : <https://www.winmagic.co.jp/>

<https://winmagic.com/ja/home-jp/> (グローバル)

営業担当者へのお問い合わせ: sales.jp@winmagic.com

テクニカルサポート: support.jp@winmagic.com

謝辞

本製品では、Antoon Bosselaers、Hans Dobbertin、Bart Preneel、Eric Young (eay@mincom.oz.au)、そして Rijndael AES アルゴリズムの開発者である Joan Daemen および Vincent Rijmen によって開発された暗号化ソフトウェアが使用されています。

「本製品では、OpenSSL Toolkit での使用を目的として、OpenSSL Project (<http://www.OpenSSL.org/>) によって開発されたソフトウェアが使用されています。」

ウィンマジックは、このプロジェクトの開発者によるソフトウェアの提供に対して、ここに感謝の意を表します。

©Copyright 1997 - 2023 by WinMagic Corp. All rights reserved.

Printed in Canada

カナダおよび米国では、多くの製品、ソフトウェアおよびテクノロジーが輸出規制の対象となっています。

ウィンマジックの製品の場合、お客様ご自身でこれらの規制の詳細を理解して戴く必要があります。

ウィンマジック製品の輸出と再輸出は、カナダ国境サービス庁 (CBSA) と、アメリカ合衆国商務省産業安全保障局 (BIS) のそれぞれが管理する、カナダおよびアメリカ合衆国の法律の規制を受ける場合があります。より詳しい情報は、ウィンマジックの Web サイトまたは関係省庁の Web サイトで、ご確認ください。

WinMagic、SecureDoc、SecureDoc Enterprise Server、Compartmental SecureDoc、SecureDoc PDA、SecureDoc Personal Edition、SecureDoc RME、SecureDoc Removable Media Encryption、SecureDoc Media Viewer、SecureDoc Express、SecureDoc for Mac、MySecureDoc、MySecureDoc Personal Edition Plus、MySecureDoc Media、PBConnex、SecureDoc Central Database および SecureDoc Cloud Lite は、米国およびその他の国における WinMagic Corp. の商標です。

本文中のその他の社名、製品名等は、各社の商標、または登録商標です。

© 2023 WinMagic Corp. All rights reserved.

このドキュメントは、情報提供のみを目的としています。

ウィンマジックは、明示的にも暗黙的にも、このドキュメントについて保証を一切しません。

ここに記載されているすべての仕様は、予告なしに変更されることがあります。